

参考資料 3-⑧
令和5年度第1回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事後評価結果（原案）

○一般国道329号 金武バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

(事後評価)

一般国道329号 金武バイパス

令和5年12月
内閣府 沖縄総合事務局

(事後評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道329号 金武バイパス
事業主体	沖縄総合事務局

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間：現道区間にについて：国道329号宜野座村・金武町境～金武IC間 ・現道区間の渋滞損失時間：整備なし112.0万人・時間、整備あり63.1万人・時間 ・現道区間の渋滞損失削減率：約44%削減
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
	□ 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	
	■ 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	国道329号を利用する既存のバスルートの定時性の向上が期待される。 ⇒沖縄バスが運行 計46便/日(平日)【国道329号(金武小学校バス停留所) 系統数:2系統】
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	金武町(金武町・宜野座村境)から那覇空港(第二種空港)までの所要時間短縮が期待される ・整備前(国道329号) :99分 ・整備後(完成供用) :97分【2分短縮】 金武町(金武中学校)から那覇空港(第二種空港)までの所要時間短縮が期待される ・整備前(国道329号) :95分 ・整備後(完成供用) :93分【約2分短縮】
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	・金武町(JAおきなわ金武支店集出荷場)から国際コンテナ航路を持つ重要港湾・那覇新港(伊奈武瀬)までの所要時間短縮が期待される ・整備前(国道329号) :85分 ・整備後(完成供用) :81分【4分短縮】
物流効率化 の支援	■ 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	・金武町(JAおきなわ金武支店集出荷場)から国際コンテナ航路を持つ重要港湾・那覇新港(伊奈武瀬)までの所要時間短縮が期待される ・整備前(国道329号) :85分 ・整備後(完成供用) :81分【4分短縮】
	□ 現道等における総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
	□ 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成（又は一部形成）されたことによる効果	
	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	・金武町の4大重要プロジェクト(平成18年度に策定された金武町の第4次総合計画に計画あり)の位置付けがあり、沿線にはギンバル訓練場跡地を活用したヘルスケアセンター、海洋療法児童リハビリセンター、金武町ベースボールスタジアム、金武町フットボールセンター等が整備された。
	□ 中心市街地内で行われたことによる効果	
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
都市の再生	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
	□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	

1. 活力	国土・地域 ネットワーク の構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間が解消	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	
		<input type="checkbox"/> ■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	金武町（金武中学校）から日常活動圏中心都市（沖縄市）までのアクセス向上が期待される ・整備前（国道329号）: 52分 ・整備後（完成供用）: 50分【2分短縮】 金武町（金武中学校）から日常活動圏中心都市（名護市）までのアクセス向上が期待される ・整備前（国道329号）: 34分 ・整備後（完成供用）: 33分【1分短縮】
		<input type="checkbox"/> 個性ある 地域の形成	
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的の発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	
		<input type="checkbox"/> ■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	・沿線で進められているギンバルド訓練場跡地周辺の活性化を支援する
		<input type="checkbox"/> ■ 主要な観光地へのアクセス向上による効果	・高速道路（金武IC）からネイチャーミライ館までのアクセス向上が見込まれる ・整備前（国道329号）: 14分 ・整備後（完成供用）: 9分【5分短縮】
		<input type="checkbox"/> ■ 特別立法に基づく事業としての効果	沖縄振興特別措置法
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果	
2. むらし	歩行者・自転車 のための生活 空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された	
	無電柱化に よる美しい 町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	
安全で 安心できる くらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上の状況	<input type="checkbox"/> ■ 三次医療施設へのアクセス向上の状況	・金武町（金武中学校）から県立中部病院（三次医療施設）までの所要時間短縮が期待される ・整備前（国道329号）: 43分 ・整備後（完成供用）: 41分【2分短縮】

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	対象区間の現道自動車交通量(17,036台/12h⇒7,976台/12h)／バイパス自動車交通量(7,536台/12h) 対象区間の幹線道路における死傷事故件数(108件/年⇒30件/年)
		<input type="checkbox"/> 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震対策緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	・金武バイパスは第2次緊急輸送道路に位置付けられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	・第2次緊急輸送道路である「国道329号金武中川～金武浜田間」の代替路線としての機能が期待される
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	沖縄自動車道
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯として機能	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 約2.8千t-CO2/年 (整備なし1459.7千t-CO2/年→整備あり1456.9千t-CO2/年)
生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間(現道/並行区間等): 国道329号宜野座村・金武町境～金武IC間 排出削減量: 3.4t/年 排出削減率: 22%削減 (整備なし15.2t/年→整備あり11.8t/年)	
		(推計結果) 評価対象区間(現道/並行区間等): 国道329号宜野座村・金武町境～金武IC間 排出削減量: 0.20t/年 排出削減率: 23%削減 (整備なし0.87t/年→整備あり0.67t/年)	
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに関する効果	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道329号	金武バイパス	L=5.6km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,100	2	沖縄総合事務局

① 費 用

	事 業 費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年	令和5年度			
単純合計	185億円	49億円		235億円
基準年における 現在価値 (C)	335億円	32億円		367億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和5年度			
供 用 年	平成23年度、平成25年度、令和元年度			
単年便益 (初年便益)	1.01億円	0.13億円	0.07億円	1.2億円
基準年における 現在価値 (B)	310億円	53億円	16億円	379億円

③ 結 果

費用便益比 (B／C)	1.03
経済的純現在価値 (B - C)	12億円
経済的内部收益率 (EIRR)	4.1%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

様式－3①

事業名：金武バイパス（事業全体）

（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 [金武バイパス] :5.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	10,100
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	11
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	20
②主な周辺道路	現道(国道329号) :3.7km	交通量	[台/日]	14,700
	走行時間	[分]	12	7.7
	走行時間費用	[億円/年]	32	12
	沖縄自動車道 :42.8km (片側 21.4km×2)	交通量	[台/日]	16,200
	走行時間	[分]	17	16
	走行時間費用	[億円/年]	53	45
	恩納バイパス :5.1km	交通量	[台/日]	26,400
	走行時間	[分]	5.7	5.8
	走行時間費用	[億円/年]	28	29
国道58号 :5.7km	交通量	[台/日]	5,600	5,600
	走行時間	[分]	8.3	8.3
	走行時間費用	[億円/年]	8.5	8.5
県道104号 :6.8km	交通量	[台/日]	7,200	6,700
	走行時間	[分]	17	16
	走行時間費用	[億円/年]	23	20
③その他道路合計 :1283.3km	走行時間費用	[億円/年]	6,003	6,001

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,353.0km	走行時間短縮便益 [億円/年]	6,147	6,135	12

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：金武バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和5年
交通流の推計	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H27/R22)
	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)
		()台トリップ/日
	考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である
		山間部海岸部で併行道路が少ない
		その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けて設定	
	採用理由を記載	
	交通量が、交通容量($Q_{max} \sim Q_{min}$)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	
	採用理由を記載	
その他()		<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ 面的に考慮 <input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮 <input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
	災害等による通行止めの影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ 採用した通行止め日数 () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載
		とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
		考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ 採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
		考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 <input checked="" type="checkbox"/>
		その他 () <input type="checkbox"/>
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/>
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/>
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮 <input checked="" type="checkbox"/>
		中央分離帯の有無を考慮しない <input type="checkbox"/>
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること) <input type="checkbox"/>
	その他	

事業名：金武バイパス

(4)

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道329号 金武バイパス

年次	年度	割戻率	GDP テフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-20年目	H3	3.5081	112.5	0.97	3.1				
-19年目	H4	3.3731	114.1	0.29	0.88				
-18年目	H5	3.2434	114.4	1.4	4.0				
-17年目	H6	3.1187	114.3	7.3	20				
-16年目	H7	2.9987	113.7	4.2	11				
-15年目	H8	2.8834	113.2	5.5	14				
-14年目	H9	2.7725	114.2	4.3	11				
-13年目	H10	2.6658	113.6	12	29				
-12年目	H11	2.5633	112.0	14	32				
-11年目	H12	2.4647	110.7	4.1	9.4				
-10年目	H13	2.3699	109.4	3.8	8.3				
-9年目	H14	2.2788	107.6	9.6	21				
-8年目	H15	2.1911	106.1	3.6	7.7				
-7年目	H16	2.1068	105.0	0.94	1.9				
-6年目	H17	2.0258	103.7	1.8	3.6				
-5年目	H18	1.9479	103.0	2.3	4.4				
-4年目	H19	1.8730	102.1	2.7	5.0				
-3年目	H20	1.8009	101.6	3.0	5.4				
-2年目	H21	1.7317	100.3	4.6	8.1				
-1年目	H22	1.6651	98.6	6.9	12				
供用開始年次	H23	1.6010	97.2	5.8	9.8	0.28	0.46		
1年目	H24	1.5395	96.4	9.3	15	0.28	0.45		
部分開通年次	H25	1.4802	96.4	15	24	0.48	0.74		
3年目	H26	1.4233	98.7	13	19	0.47	0.69		
4年目	H27	1.3686	100.2	6.4	8.9	0.47	0.66		
5年目	H28	1.3159	100.2	16	22	0.47	0.63		
6年目	H29	1.2653	100.5	7.3	9.3	0.47	0.61		
7年目	H30	1.2167	100.4	19	24	0.47	0.58		
完成供用年次	R1	1.1699	101.2			1.09	1.28		
9年目	R2	1.1249	101.9			1.09	1.23		
10年目	R3	1.0816	101.8			1.09	1.18		
11年目	R4	1.0400	101.8			1.09	1.13		
12年目	R5	1.0000	101.8			1.09	1.09		
13年目	R6	0.9615	101.8			1.09	1.05		
14年目	R7	0.9246	101.8			1.09	1.01		
15年目	R8	0.8890	101.8			1.09	0.97		
16年目	R9	0.8548	101.8			1.09	0.93		
17年目	R10	0.8219	101.8			1.09	0.90		
18年目	R11	0.7903	101.8			1.09	0.86		
19年目	R12	0.7599	101.8			1.09	0.83		
20年目	R13	0.7307	101.8			1.09	0.80		
21年目	R14	0.7026	101.8			1.09	0.77		
22年目	R15	0.6756	101.8			1.09	0.74		
23年目	R16	0.6496	101.8			1.09	0.71		
24年目	R17	0.6246	101.8			1.09	0.68		
25年目	R18	0.6006	101.8			1.09	0.66		
26年目	R19	0.5775	101.8			1.09	0.63		
27年目	R20	0.5553	101.8			1.09	0.61		
28年目	R21	0.5339	101.8			1.09	0.58		
29年目	R22	0.5134	101.8			1.09	0.56		
30年目	R23	0.4936	101.8			1.09	0.54		
31年目	R24	0.4746	101.8			1.09	0.52		
32年目	R25	0.4564	101.8			1.09	0.50		
33年目	R26	0.4388	101.8			1.09	0.48		
34年目	R27	0.4220	101.8			1.09	0.46		
35年目	R28	0.4057	101.8			1.09	0.44		
36年目	R29	0.3901	101.8			1.09	0.43		
37年目	R30	0.3751	101.8			1.09	0.41		
38年目	R31	0.3607	101.8			1.09	0.39		
39年目	R32	0.3468	101.8			1.09	0.38		
40年目	R33	0.3335	101.8			1.09	0.36		
41年目	R34	0.3207	101.8			1.09	0.35		
42年目	R35	0.3083	101.8			1.09	0.34		
43年目	R36	0.2965	101.8			1.09	0.32		
44年目	R37	0.2851	101.8			1.09	0.31		
45年目	R38	0.2741	101.8			1.09	0.30		
46年目	R39	0.2636	101.8			1.09	0.29		
47年目	R40	0.2534	101.8			1.09	0.28		
48年目	R41	0.2437	101.8			1.09	0.27		
49年目	R42	0.2343	101.8	-32	-7.5	1.09	0.26		
合 計				153	335	49	32		

単純事業費計

185

49

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式-5

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道329号 金武バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (沖縄ブロック)			割戻率 (A)	GDP テーブレータ	走行時間短縮便益 (億円)					走行経費減少便益 (億円)					交通事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
							乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 ①～③	現在価値 割引率4%	
		乗用車類	小型貨物車	普通貨物車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 ①～③	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H23	1.02483	1.05556	1.05918	1.03174	1.6010	97.2	0.61	0.18	0.22	1.0	1.7	0.08	0.03	0.02	0.13	0.21	0.07	0.13	1.2	2.0
1年目	H24	1.00262	1.03150	1.03479	1.00926	1.5395	96.4	0.62	0.19	0.24	1.0	1.7	0.08	0.03	0.02	0.13	0.21	0.08	0.13	1.3	2.0
部分開通年次	H25	0.99379	1.02133	1.02437	1.00027	1.4802	96.4	1.7	0.41	0.72	2.8	4.4	0.26	0.10	0.12	0.48	0.75	0.20	0.31	3.5	5.5
3年目	H26	1.00578	1.03262	1.03549	1.01222	1.4233	98.7	1.7	0.42	0.74	2.8	4.2	0.26	0.10	0.12	0.48	0.71	0.20	0.29	3.5	5.2
4年目	H27	1.00655	0.99362	1.01210	1.00444	1.3686	100.2	1.7	0.44	0.76	2.9	4.0	0.26	0.10	0.13	0.49	0.68	0.20	0.28	3.6	5.0
5年目	H28	1.00650	0.99358	1.01196	1.00442	1.3159	100.2	1.7	0.43	0.77	2.9	3.9	0.26	0.10	0.13	0.49	0.66	0.20	0.27	3.6	4.8
6年目	H29	1.00646	0.99354	1.01181	1.00440	1.2653	100.5	1.7	0.43	0.78	2.9	3.8	0.26	0.10	0.13	0.50	0.64	0.20	0.26	3.6	4.7
7年目	H30	1.00642	0.99350	1.01168	1.00438	1.2167	100.4	1.7	0.43	0.79	3.0	3.6	0.26	0.10	0.13	0.50	0.62	0.21	0.25	3.7	4.5
完成供用年次	R1	1.00638	0.99345	1.01154	1.00436	1.1699	101.2	6.0	2.8	2.3	11	13	1.4	0.31	0.24	1.9	2.2	0.57	0.67	14	16
9年目	R2	1.00634	0.99341	1.01141	1.00434	1.1249	101.9	6.0	2.8	2.4	11	13	1.4	0.30	0.24	1.9	2.1	0.57	0.64	14	15
10年目	R3	1.00630	0.99337	1.01128	1.00433	1.0816	101.8	6.0	2.8	2.4	11	12	1.4	0.30	0.25	1.9	2.1	0.57	0.62	14	15
11年目	R4	1.00626	0.99332	1.01116	1.00431	1.0400	101.8	6.1	2.7	2.4	11	12	1.4	0.30	0.25	1.9	2.0	0.58	0.60	14	14
12年目	R5	1.00622	0.99328	1.01103	1.00429	1.0000	101.8	6.1	2.7	2.4	11	11	1.4	0.30	0.25	1.9	1.9	0.58	0.58	14	14
13年目	R6	1.00618	0.99323	1.01091	1.00427	0.9615	101.8	6.2	2.7	2.5	11	11	1.4	0.30	0.25	1.9	1.9	0.58	0.56	14	13
14年目	R7	1.00614	0.99319	1.01079	1.00425	0.9246	101.8	6.2	2.7	2.5	11	11	1.4	0.29	0.26	2.0	1.8	0.58	0.54	14	13
15年目	R8	1.00611	0.99314	1.01068	1.00423	0.8890	101.8	6.2	2.7	2.5	11	10	1.4	0.29	0.26	2.0	1.7	0.59	0.52	14	12
16年目	R9	1.00607	0.99309	1.01057	1.00422	0.8548	101.8	6.3	2.7	2.5	11	9.8	1.4	0.29	0.26	2.0	1.7	0.59	0.50	14	12
17年目	R10	1.00603	0.99304	1.01046	1.00420	0.8219	101.8	6.3	2.6	2.6	12	9.5	1.4	0.29	0.27	2.0	1.6	0.59	0.49	14	12
18年目	R11	1.00600	0.99300	1.01035	1.00418	0.7903	101.8	6.3	2.6	2.6	12	9.1	1.4	0.29	0.27	2.0	1.6	0.59	0.47	14	11
19年目	R12	1.00451	0.99662	1.01002	1.00359	0.7599	101.8	6.4	2.6	2.6	12	8.8	1.4	0.28	0.27	2.0	1.5	0.60	0.45	14	11
20年目	R13	1.00449	0.99661	1.00992	1.00358	0.7307	101.8	6.4	2.6	2.6	12	8.5	1.5	0.28	0.27	2.0	1.5	0.60	0.44	14	10
21年目	R14	1.00447	0.99660	1.00982	1.00357	0.7026	101.8	6.4	2.6	2.7	12	8.2	1.5	0.28	0.28	2.0	1.4	0.60	0.42	14	10
22年目	R15	1.00445	0.99658	1.00973	1.00356	0.6756	101.8	6.5	2.6	2.7	12	7.9	1.5	0.28	0.28	2.0	1.4	0.60	0.41	14	9.7
23年目	R16	1.00443	0.99657	1.00963	1.00354	0.6496	101.8	6.5	2.6	2.7	12	7.7	1.5	0.28	0.28	2.0	1.3	0.61	0.39	14	9.4
24年目	R17	1.00441	0.99656	1.00954	1.00353	0.6246	101.8	6.5	2.6	2.7	12	7.4	1.5	0.28	0.28	2.0	1.3	0.61	0.38	14	9.0
25年目	R18	1.00439	0.99655	1.00945	1.00352	0.6006	101.8	6.6	2.5	2.8	12	7.1	1.5	0.28	0.29	2.1	1.2	0.61	0.37	15	8.7
26年目	R19	1.00437	0.99654	1.00936	1.00351	0.5775	101.8	6.6	2.5	2.8	12	6.9	1.5	0.28	0.29	2.1	1.2	0.61	0.35	15	8.4
27年目	R20	1.00435	0.99653	1.00927	1.00349	0.5553	101.8	6.6	2.5	2.8	12	6.6	1.5	0.28	0.29	2.1	1.1	0.61	0.34	15	8.1
28年目	R21	1.00433	0.99651	1.00919	1.00348	0.5339	101.8	6.6	2.5	2.9	12	6.4	1.5	0.27	0.29	2.1	1.1	0.62	0.33	15	7.9
29年目	R22	0.99315	0.99337	0.99881	0.99376	0.5134	101.8	6.7	2.5	2.9	12	6.2	1.5	0.27	0.30	2.1	1.1	0.62	0.32	15	7.6
30年目	R23	0.99311	0.99332	0.99881	0.99372	0.4936	101.8	6.6	2.5	2.9	12	5.9	1.5	0.27	0.30	2.1	1.0	0.61	0.30	15	7.2
31年目																					

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道329号	金武バイパス	2	5.6

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					11,245	
	改良費				6,077	
		土工	m ³	743,880	1,158	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	33,901	1,111	
		法面工	m ²	77,023	292	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	611	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	6,367	261	
		函渠工	m	241	255	
		排水工	m	37,610	962	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	1,425	植栽、赤土流出防止対策工
	橋梁費				3,792	
		100m以上	式	1	3,256	1号・2号橋
		100m未満	式	1	536	1号跨道橋
	トンネル費					
		NATM	式			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				795	
		車道舗装	m ²	47,114	702	再生密粒度アスファルト
		歩道舗装	m ²	16,871	93	透水性舗装
	付帯施設費				582	
		交通管理施設工	式	1	582	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費					4,446	
	用地費				3,201	
		宅地	m ²	104,424	2,597	
		田畠	m ²	49,253	535	
		山林・原野	m ²		3	
		その他	m ²	2,465	67	お墓等
	補償費		式	1	1,245	
③間接経費			式	1	3,706	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					19,398	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道329号	金武バイパス	2	5.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.6	1,220	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,183	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,403	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。